

TOKIO 会議テーブル DXシリーズ 組立説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。組立説明書をよくお読み頂き、手順に従って組立ください。未永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。

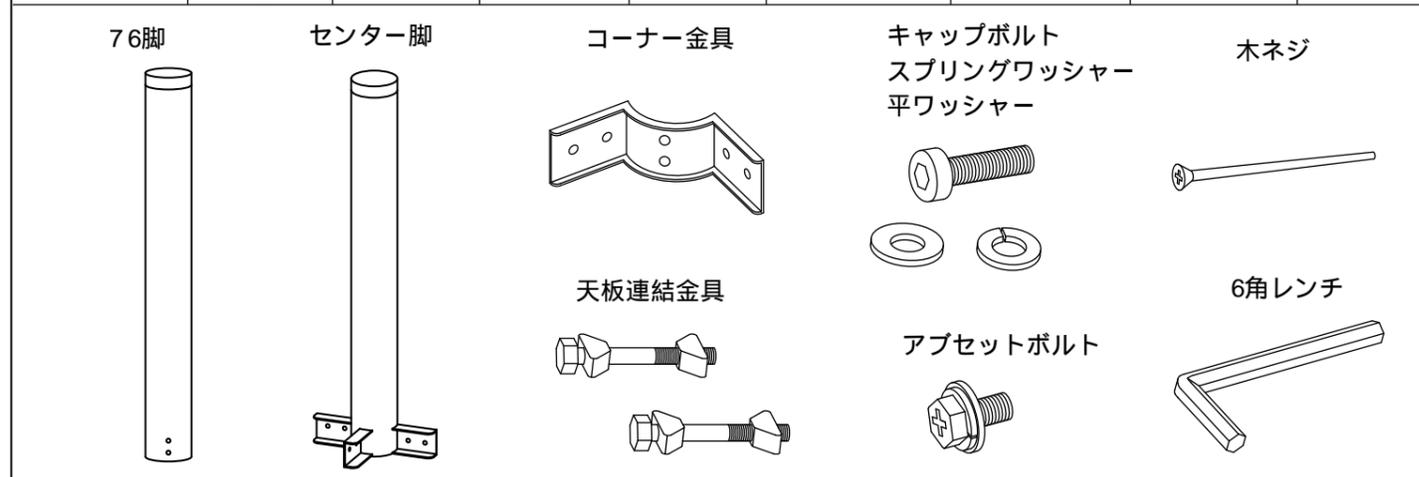
注意 組立の前に必ずお読みください。不適切な組立は事故につながる可能性があります。重量がありますので、2人以上で組立ててください。

工具類の取扱いには十分注意ください。
 組立の際は、お子様に注意し広い場所で行なってください。
 組立説明書に従って、組立してください。手順を間違えると組立たないことがあります。
 また、ネジの部分は確実に組立てください。不十分ですと使用中に製品が破損してけがをすることがあります。
 組立の際は、製品及び床面を傷つけないようにご注意ください。
 組立の際は、万一に備え軍手を着用ください。

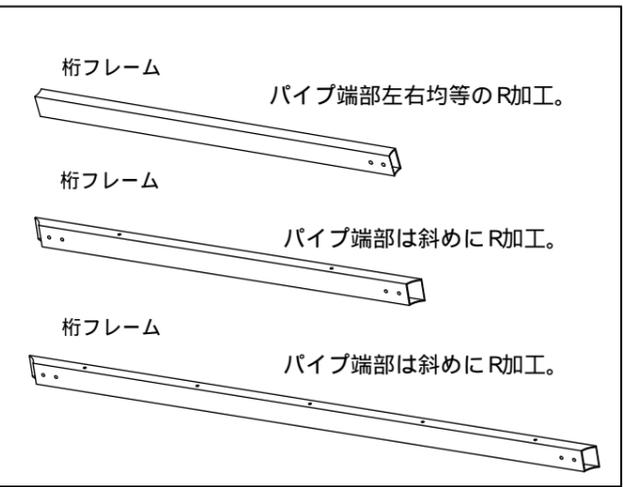
部材・部品一覧 (組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。)

製品名	天板	天板連結金具	天板
DX-4812	角型 × 4枚		
DX-3612	角型 × 3枚		
DX-2412	角型 × 1枚		
DX-4812R	R型 × 2枚・角型 × 2枚	9ヶ	
DX-3612R	R型 × 2枚・角型 × 1枚	6ヶ	
DX-2412R	R型 × 1枚		
DX-4812S	舟型 × 2枚・舟型 × 2枚	9ヶ	
DX-3612S	舟型 × 2枚・舟型 × 2枚	6ヶ	
DX-2412S	舟型 × 1枚		

製品名	76脚	センター脚	コーナー金具	天板連結金具	キャップボルト M8×20	アセットボルト M8×17	木ネジ M5.1×75	6角レンチ
DX-4812	4本	2本	4ヶ	9ヶ	8ヶ	28ヶ	20ヶ	1本
DX-3612	4本	2本	4ヶ	6ヶ	8ヶ	28ヶ	16ヶ	1本
DX-2412	4本		4ヶ		8ヶ	16ヶ	14ヶ	1本
DX-4812R	4本	2本	4ヶ		8ヶ	28ヶ	20ヶ	1本
DX-3612R	4本	2本	4ヶ		8ヶ	28ヶ	16ヶ	1本
DX-2412R	4本		4ヶ		8ヶ	16ヶ	12ヶ	1本
DX-4812S	4本	2本	4ヶ		8ヶ	28ヶ	20ヶ	1本
DX-3612S	4本	2本	4ヶ		8ヶ	28ヶ	16ヶ	1本
DX-2412S	4本		4ヶ		8ヶ	16ヶ	12ヶ	1本



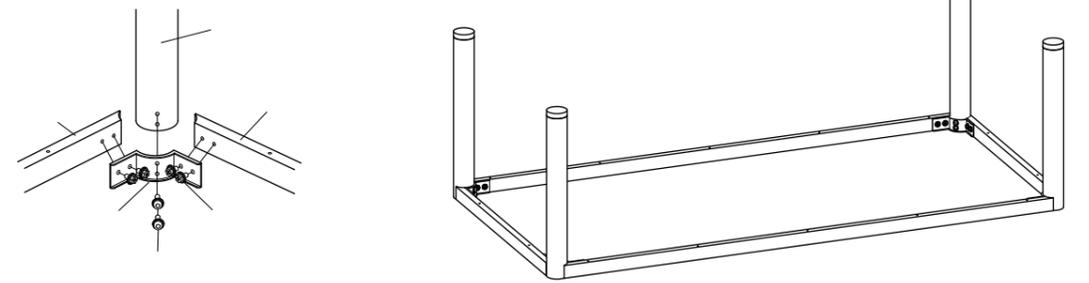
製品名	桁フレーム		
	D方向	W方向	センター
DX-4812	l = 690 2本	l = 1914 4本	l = 678 1本
DX-3612	l = 690 2本	l = 1314 4本	l = 678 1本
DX-2412	l = 960 2本	l = 2160 2本	
DX-4812R	l = 690 2本	l = 1914 4本	l = 678 1本
DX-3612R	l = 690 2本	l = 1314 4本	l = 678 1本
DX-2412R	l = 800 2本	l = 1560 2本	
DX-4812S	l = 690 2本	l = 1914 4本	l = 678 1本
DX-3612S	l = 690 2本	l = 1314 4本	l = 678 1本
DX-2412S	l = 800 2本	l = 1560 2本	



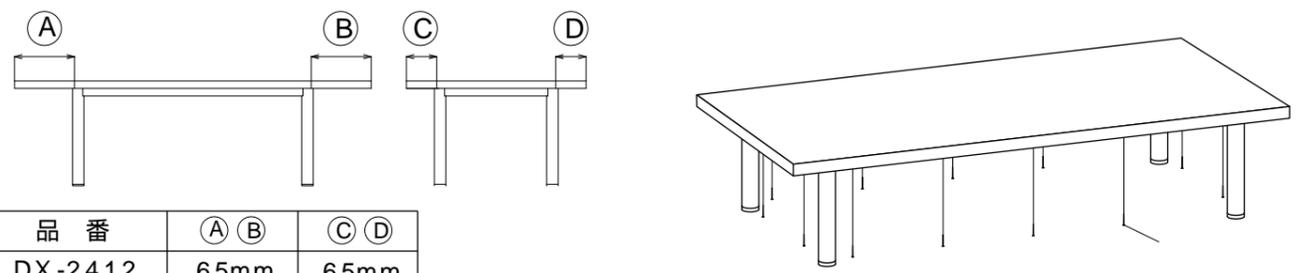
組立手順 工具：電気ドライバー・ボックスレンチ・10番スパナ等ご用意ください。

製品名：DX-2412・DX-2412R・DX-2412S

手順1 76脚に コーナー金具を キャップボルト・スプリングワッシャー・平ワッシャーで止め、 コーナー金具に 桁フレームと 桁フレームを アセットボルトで仮止めし全体のゆがみ・変形がないかをお確かめの上ボルトをしっかりと締め付けて下さい。

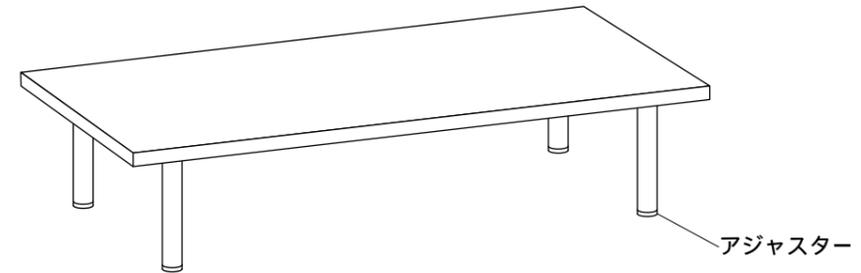


手順2 組立てたフレームに 天板を乗せ、メジャーや定規などで天板の側面から、桁フレームの側面までの寸法A・B・C・Dを計り、天板を取り付ける位置決めをしてください。それから、電気ドライバーなどで 木ネジで天板を止めて完成です。



品番	A B	C D
DX-2412	65mm	65mm
DX-2412R	365mm	145mm
DX-2412S	365mm	145mm

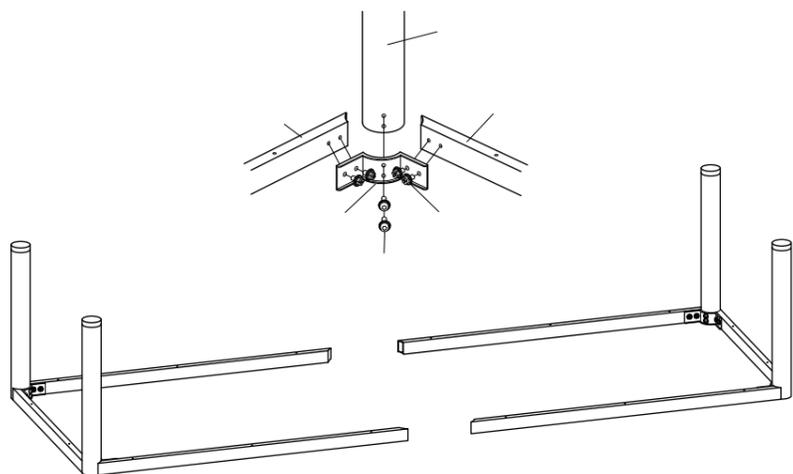
手順3 設置後ガタツキがあればアジャスターで調整してください。



製品名：DX-3612・DX-3612R・DX-3612S
DX-4812・DX-4812R・DX-4812S

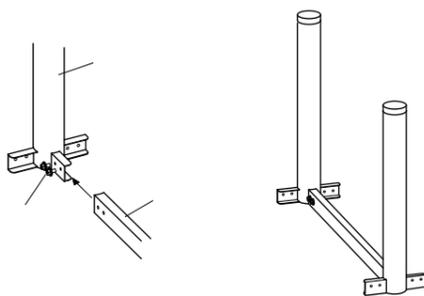
手順1

76脚に コーナー金具を キャップボルト・スプリングワッシャー・平ワッシャーで止め、 コーナー金具に 桁フレームと 桁フレームを アプセットボルトで仮止めして2セットを、組立してください。



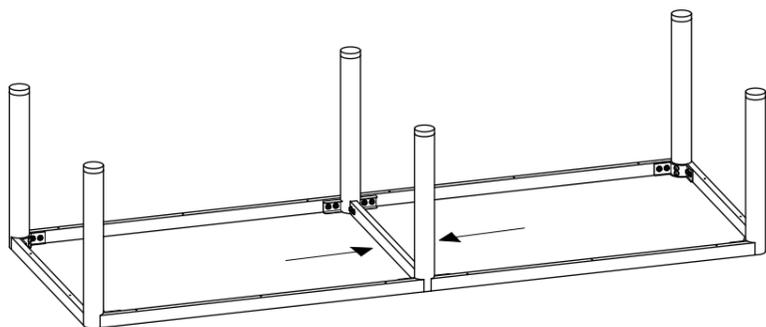
手順2

センター脚に 桁フレームを差し込み アプセットボルトで仮止めしてください。

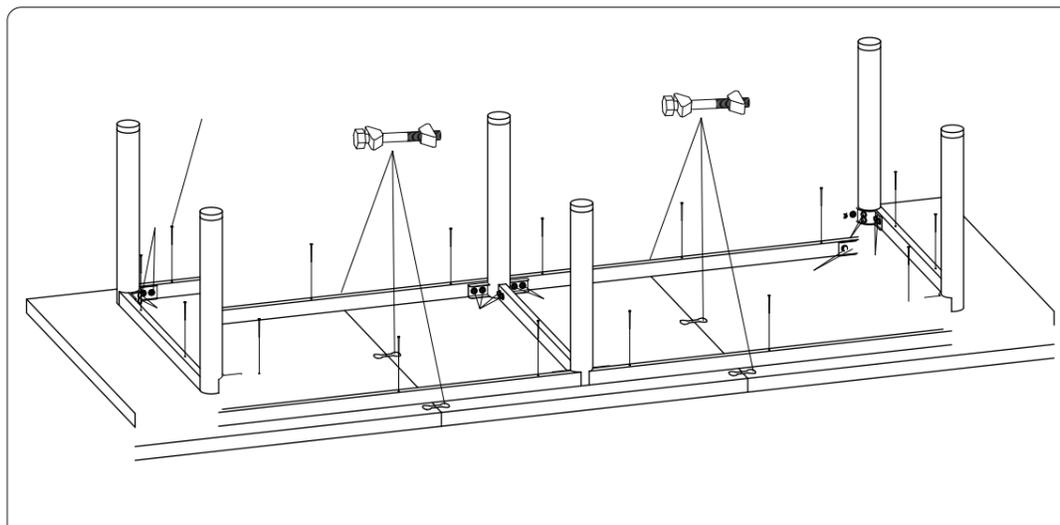


手順3

手順1で組立てた 76脚を手順2で組立てた センター脚の左右に置き、挟み込むように アプセットボルトで仮止めし全体のゆがみ・変形がないかをお確かめの上ボルトをしっかりと締め付けてください。



ボルト取付け位置 (例：DX-3612 天板：R型・舟型も共通)

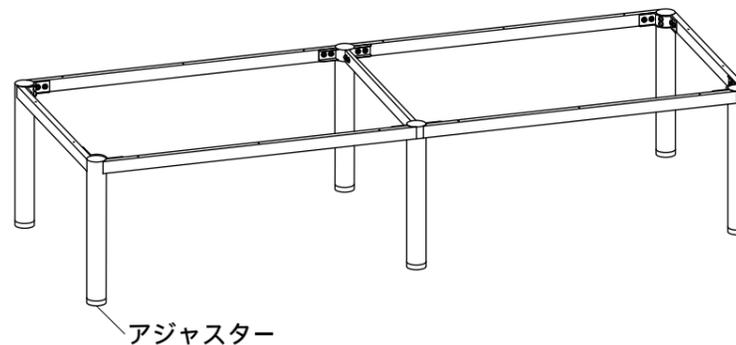


天板連結金具	6本	天板用
キャップボルト	M 8× 20 : 8本	76脚用
アプセットボルト	M 8× 17 : 16本	センター脚 + 桁用
木ねじ	皿 M 5.1× 75 : 20本	天板用

DX-4812は、天板が4枚に増え連結金具・木ネジの本数が増えますが、組立方法は基本的に同じです。部材・部品一覧でご確認ください。

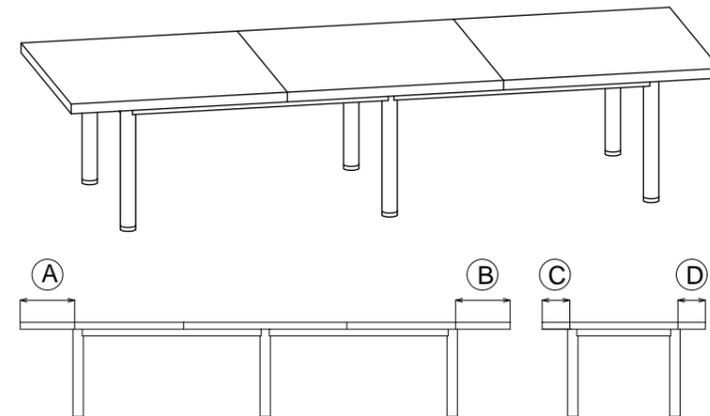
施工 point I

フレーム全体をひっくり返し、所定の位置に設置しフレームのゆがみ・変形がないかをご確認ください。そして、床とのガタツキがないようにアジャスターでレベル調整を行ってください。(天板を乗せると重くて移動・持ち上げがしにくくなります。)



手順4

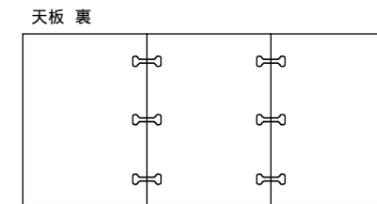
組立てたフレームに 天板を乗せ、メジャーや定規などで天板の側面から、フレームの側面までの寸法A・B・C・Dを計り、天板を取り付ける位置決めをして下さい。



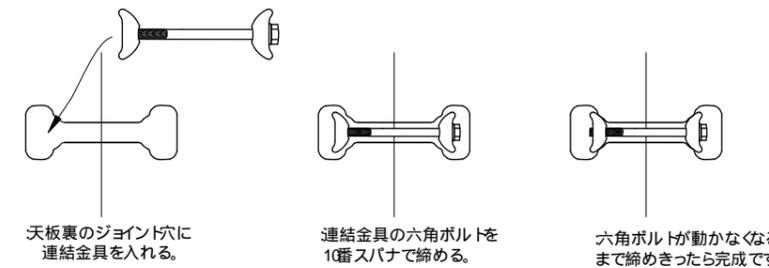
品番	(A) (B)	(C) (D)
DX-3612・DX4812	403mm	201mm
DX-3612R・DX-4812R	403mm	201mm
DX-3612S・DX4812S	403mm	201mm

手順5

天板と天板の間に隙間ができない様に、天板の裏からジョイント穴に 天板連結金具を納め、 天板連結金具の六角ボルトを10番スパナで締め付けてください。



(角型・楕円型・舟型共通) 図はDX-3612です。



手順6

最後に木ねじを電気ドライバーなどで締め付けて完成です。

